

UMC-Japanese Ministry  
11 Highgate Terrace  
Bergenfield, NJ 07621 USA

## 新サーキットライダー2011年11、12月号



United Methodist Church - Japanese American Ministry

合同メソジスト教会日本語ミニストリー

c/o The Church of The Good Shepherd, 326 New Bridge Road, Bergenfield, NJ 07656

Pastor : Rev. Dr. Jun Yoshimatsu 牧師 : 吉松 純

Church: (201) 385-4100 Homepage: [www.umc-japan.org](http://www.umc-japan.org)

## 荒野の中で

荒野で叫ぶ者の声がある。『主の道を整え、その道筋をまっすぐにせよ。』（マルコ 1：3）

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。  
（ローマ 12：15）

11月に2週間半ほど一時帰国しました。最初の週は東京にいて主に家族と過ごし、10月に転んで怪我で入院していた母の退院に立ち会いました。また足掛け30年お手伝いしているサマーキャンプのリユニオンで懐かしい元キャンパー、カウンセラーの皆さんにお会いしました。2週目は兵庫の関西学院訪問から始まり、山陰、山陽の美術館、庭園を回り、兵庫県の畦野教会（サマーキャンプに参加された塚本吉興牧師の教会）で説教をさせていただきました。3週目は被災地の宮城県石巻市、そして仙台経由で福島県郡山市を訪問して帰ってきました。それぞれの地で懐かしい方々と再会し、皆さんにとっても良くしていただき愉悦の時を持つことができました。また被災地を案内して下さり、大変お世話になりました皆さんに心からお礼を申し上げます。

訪問先の出来事やお懐かしい方々との交流を全部列挙したいところですが、それをやってはいはいくら紙面があっても足りません。今回は被災地を訪問して考えたことを書かせていただきます。初めに東日本で亡くなった方々、今も悲しみや苦しみの中にいられる被災者の皆さんに哀悼の意を表します。一刻も早い復興を心からお祈りいたします。

11月15日（火）の早朝、始発の東北新幹線で古川（仙台的次の駅。12月に入って仙石線という仙台、石巻を結ぶ列車が再開したようですが、私が行った時はまだ不通でした。）まで行き、そこから陸羽線、石巻線と乗り継いで石巻に着きました。

石巻で日本基督教団伝道士（補教師）の小川洋二先生、専任ボランティアの浅海由里恵姉の出迎えを受け、そのまま車で石巻の町を案内されました。そこで見た光景、特に港沿いの町々の様子は正に凄惨そのものでした。既に瓦礫は綺麗に撤去されていましたが、地震、そして大津波に飲み込まれた町の8ヶ月後の姿は、以前訪れた広島原爆資料館で見た、原爆直後の広島、

或いは長崎のようにあたり一面何も無い正に荒野でした。

中でも被災地にあった小学校に連れて行っていた際には、津波とその後の二次災害の恐ろしさを肌で感じ、何とも言えない思いになりました。その小学校は火災が起きて1、2階は全焼、3階も引火し、黒ずんだ姿でした。子供を迎えにきたり、逃げてきた人たちが校庭に駐車した車が次々に津波で押しつぶされ校舎にぶつけられ、漏れたガソリンが燃え上がり、校舎が一面火の海に包まれたそうです。



火災にあった小学校

子供、保護者、教員の多くは避難できたようですが、校舎の入り口や何箇所かに献花がありましたので、やはりそこで犠牲になった方もあったようです。校舎に近づくと8ヶ月経った今も焦げ臭い臭いが漂い、津波、火災の恐ろしさが生々しく伝わってきました。

校舎から後ろを振り返ると、本来なら家々、ビルが立ち並び見えないはずの海岸線が校庭から一望できました。それは正に荒野と化した漁村の風景でした。この荒野では預言者バプテスマのヨハネの声も、エレミヤの声も、イザヤの声も聞こえてきませんでした。



津波被害が甚大だった石巻の海辺の町。



8ヶ月経ってもまだ陸にうちあげられたままの姿でのこっている船と破壊された家々が見られた。

しかし案内して下さったお小川先生、浅海姉に様々なお話を伺い、更に実際に被災された阿部さんとう方の家に案内され、そこで直接お話を聞き、クリスチャンの兄弟姉妹をはじめ多くの心優しいボランティアの方々の尊い働きを知り、その証を伺った時に、私はこの荒野に希望の光を見ることができました。

阿部さん曰く、「震災後、ぼちぼちと全国からボランティアの人たちが来てくれるようになったけれども、当初、被災者の多くはボランティアの人たちとどう接してよいのか戸惑ってい

た。」そうです。何を頼んで良いのか分からず遠慮する気持ちや、正直遅かれ早かれ帰ってしまう人たちに「自分達の苦境は分かってもらえない。」という思いもあった。そんな中で海水が2階まで押し寄せてあちこち損傷した家の掃除をし、兎に角、ボランティアの方に来てもらったそうです。その日、真っ先にヘドロで満ち臭気が漂っている床下に潜って掃除をしてくれた健気な女の子（若い女性）がいたが、それが浅見さんだった。「誰も潜りたがらない縁の下に潜ってくれたのを見て本当に感激した。」  
「それ以来ボランティアの人を心から信頼して受け入れ色々お願いするようになった。」とのこと。

私はただお邪魔して被災地の様子を見て、お話を伺って帰ってきただけですが、本当に多くの方が祈り献金し、またボランティアとして被災地の方々と共に過ごしている姿を見聞きして感動を覚え、心から感謝しました。正に「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣いている」その愛に希望を見出しました

石巻、仙台を訪問後、福島県郡山市で父、吉松繁牧師と合流して、翌日は地震で多くの家屋が倒壊しただけでなく、原発事故による放射能汚染の恐怖と戦いながら暮らしている郡山市にある安積（あさか）教会（加藤智恵牧師）を訪問しました。そこで旧約聖書のネヘミヤ書の学びをしました。集会には安積教会の方や近隣の方が数名集って下さり、皆さんの体験を伺ったり、今一番問題になっている放射能、風評被害のことも伺いました。皆さん大変な思いをされながらも礼拝を守り、その地から離れずに暮らしている。本当にキリスト・イエスにあって共に生きている。辛い時は共に泣き、嬉しい時は共に喜ぶ姿がそこにもありました。

2000年前、暗闇の中に、荒野に生きた人々と共に喜び共に泣くためにイエス・キリストはお生まれになりました。だから今日、どのような時代であっても、どのような苦しい状況であってもクリスマスの光は喜びに満ちているのです。そしてそれはこれからも変わることはない。



安積教会で聖書研究会をした後皆さんと。地震で尖塔の十字架が曲がり正面からずれてしまった。

私は、本当に一時帰国というごく限られた時間での被災地訪問であり、何もできませんでした。多くの方から逆に励ましを受け、愛と希望を頂きました。ありがとうございました。今年もまたクリスマスをお祝いできることを感謝します。

## メリークリスマス！

吉松 純

### 礼拝予定：

- 12月**  
 18日 聖書の学び、礼拝、Jr. 教会、ハンドベル練習  
 24日 クリスマス・ファミリー・キャンドル・サービス（英語）午後7時。礼拝の中でハンドベルの演奏をします。  
 25日 聖書の学びはお休み。礼拝、日本語キャンドル・サービス。礼拝でハンドベルを演奏します。礼拝後、持ち寄りで祝会。プレゼント交換。

31日 大晦日礼拝（英語）午後7時。

### 2012年 1月

- 1日 聖書の学びはお休み。聖餐礼拝、Jr. 教会、お餅料理。礼拝後皆で雑煮、焼餅をいただきます。  
 8日 聖書の学び、礼拝、Jr. 教会、書初めで聖句を書く。  
 15日 聖書の学び、礼拝、Jr. 教会、顕現節について学ぶ  
 22日 聖書の学び、礼拝、Jr. 教会、切手仕分け  
 29日 聖書の学び、礼拝、Jr. 教会、日本の冬、春の行事を学ぶ、節分、立春・・・  
**2月**  
 5日 聖書の学び、聖餐式礼拝、Jr. 教会  
 12日 聖書の学びはお休み、礼拝、ゲスト・スピーカー：TBA

### 感謝：

\*日本では本当に多くの懐かしい方とお会いし楽しい時を過ごすことができました。心から感謝いたします。また留守中、礼拝説教を取り次いで下さった浅田容子牧師、石倉久美子姉に心より感謝いたします。

\*11月5日東京銀座教会でサマーキャンプのリユニオンが持たれました。その折に日本でのキャンプ支援会のお願いをさせていただきました。銀座教会の鵜飼道子姉と早川優子姉が東京の支援会のコンタクトになって下さいました。重ねて感謝いたします。

\*日本語ミニストリーでは4月に合同メソジストの災害援助団体UMCORを通して2434ドルの献金を日本にお送りしました。

今回吉松牧師が石巻、仙台、郡山を訪れた折に、その後皆様か頂きました献金の一部2万円を日本基督教団東北教区本部の仙台エマオ被災者救援センターに捧げました。感謝いたします。これからは直接、エマオに送りたいと思います。引き続き被災地への献金をお願いいたします。

### 予定：

- 12月24日**午後7時、クリスマス・ファミリー・キャンドル礼拝（英語）。礼拝中、日本語ミニストリー小中高生のハンドベル演奏があります。  
**12月25日**午後3時、日本語キャンドル・サービス。礼拝後、持ち寄りで祝会とプレゼント交換（5ドル以内で買えるアイデア・プレゼントを用意下さい。）  
**12月31日**午後7時、大晦日礼拝（英語）  
**1月 1日**午後3時、元旦礼拝。礼拝後お餅を

頂いて新年をお祝いします。

お祈りと献金の御協力をお願いします。チェックのあて先は UMC-JA とし、どのプログラムに献金したいか明記してお送り下さい。

- \* 自然災害被害者の為、日本の東日本大震災、
- \* 来年2012年に開かれる第4回東部日本語教会合同ファミリーキャンプの為
- \* ハーベスト・タイムのミッションの為
- \* 消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリト教海外医療協力会 (JOC S) に送ります。JOC S 海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。
- \* アフリカの恵まれない子供達やエイズの患者の為特別献金をしています。
- \* パターソンの社会福祉団体 CUMAC/ECHO の為に。CUMAC は合同メソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

教会の住所：

**UMC-Japanese Ministry**

The Church of the Good Shepherd, UMC.

326 New Bridge Rd. Bergenfield, NJ 07621

英語オフィス (201) 385-4100

ホームページ：<http://www.umc-japan.org>

[English Website: www.cgs-umc.org](http://www.cgs-umc.org)

牧師館：(201) 338-2744

吉松牧師 [jun.yoshimatsu@gmail.com](mailto:jun.yoshimatsu@gmail.com)

教会学校担当：吉松 泉姉

[izumi.yoshimatsu@gmail.com](mailto:izumi.yoshimatsu@gmail.com)



## クリスマス礼拝、祝会の御案内

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。

マタイ 1：23.

日本では東北大震災、原発事故、放射能汚染、アメリカではハリケーン、時ならぬ大雪、アジアでは台風、洪水、中東では市民デモ・・・と今年1年を通して心穏やかに過ごせないニュースが多かったように思いますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。そんな1年ではありましたが、兎にも角にもこの喜びの季節を迎えました。グッドシェパード教会のクリスマス礼拝、プログラムのお知らせです。皆様と一緒にクリスマスを祝い下さい。

吉松 純

- 12月17日(土) 午後5時に教会集合。クリスマス・キャロリング(英語) 教会に來れない高齢者の家庭を訪問し讚美します。
- 18日(日) 午前10時、クリスマス・パジェント礼拝(英語と持ち寄り祝会(英語) 英語礼拝ですがどなたも歓迎です。
- 24日(土) 午後7時、ファミリー・クリスマス・キャンドル礼拝(英語)。  
日本人小中高生によるハンドベルの演奏があります。
- 25日(日) 午後3時、クリスマス・キャンドル礼拝(日本語)、日本人小中高生によるハンドベルの演奏があります。礼拝後、持ち寄りで祝会。プレゼント交換(5ドル以内で工夫する)、ゲームなど。
- 31日(金) 午後7時、大晦日礼拝、聖餐式(英語)。
- 2012年1月1日(日)  
元旦礼拝、礼拝後皆でおもち(雑煮、焼餅)を頂き新しい年をお祝いします。

\* 献金袋を同封しました。教会の運営、被災地支援、子供のプログラムの為にあてられます。ご協力いただければ幸いです。宛先は UMC-JA として下さい。

The UMC—Japanese Ministry at the Church of the Good Shepherd

11 Highgate Terrace, Bergenfield, NJ 07621

(201) 385-4100 (英語オフィス) (201) 338-2744 (牧師館、Fax)

[www.umc-japan.org](http://www.umc-japan.org)